

事務事業評価シート

事業種別	新規	単独	事業類型	I	ソフト事業	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	---	-------	-----------

事業名	コード	名称	区分	コード	名称	
2055	-1	指導者育成事業	会計	01	一般会計	
基本施策	38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	款	10	教育費	
施策	2	人権・同和教育の充実	項	05	社会教育費	
			目	03	同和教育費	
			細目	101	指導者育成経費	
			細々目	01	指導者育成経費	
基本計画該当頁	147	担当部課	コード	451000	評価者氏名	松裏博文
行革大綱の重点事項番号		名称		下郡教育集会所	連絡先	37 - 0558 (内線)

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
地区住民	(※対象件数)	社会同和教育、部落問題学習の直接指導や学習相談、併せて社会教育団体の育成を図り、部落差別の解消に努める。
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地区住民に対する教育相談や社会同和教育上の直接指導 ・小中学校地区学習会の助言や直接指導 ・教育を考える親の会の育成 ・保小中高の教育機関との連絡調整会議 	状況変化等 ・指導業務を円滑に遂行することにより、地区住民の社会教育力の向上が期待できる。
		伊賀市社会同和教育指導員設置に関する規則

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
2 委託先	() 人
3 配置(予定)人員	人
4 年間運営費	千円
5 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
相談件数	回	目標	—	目標	—
		実績	—	実績	—
定例会	回	目標	—	目標	—
		実績	—	実績	—
連絡調整会議	回	目標	—	目標	—
		実績	—	実績	—

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
相談開催回数	子どもの健全育成に学校と地域、家庭との連携を図り、相談活動に努める。	回	目標	—	目標	—
			実績	—	実績	—

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	地域住民の交流を図るには、地区住民の社会教育力の向上が不可欠。市民館の職員だけでは、地区住民の社会教育力の向上が難しい。閉鎖性を余儀なくされた住民の相談相手として、速やかに配置する必要がある。
有効性	3	地区住民の社会同和教育に関する直接指導や学習相談を行うにあたり、地区住民と同じ思いを共有できる指導員であれば、住民の積極的な参加意欲を促進できる。
達成度		
効率性	3	地区住民の社会教育力の向上、社会同和教育関係団体の育成等を行うにあたり必要である。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A		

年度	事業内容	平成18年度 決算内容				平成19年度 決算内容				平成20年度 計画内容				平成21年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額
進捗状況	委託									指導員報酬	1	人	2,152	指導員報酬	1	人	2,152
	工事									共済費	1	人	259	共済費	1	人	259
										旅費			36	旅費			36
進捗率(%)										事業費計(A)			2,447	事業費計(A)			2,447
事業投入人員		人件費(B)		人	0	人件費(B)		人	0	人件費(B)		人	0	人件費(B)		人	0
フルコスト(A)+(B)					0				0				2,447				2,447

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	金額
Aの財源内訳	国庫支出金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	受益者負担	0
	その他	0
	一般財源	2,447
	計	2,447
備考	特定財源の名称・補助基本額・率	
	地方債の区分と充当率等	